

「令和2年度広報活動に関する調査」の報告について

■ 調査目的

この調査は、現在、北九州市が行っている広報活動が市民にどのように意識・利用され、またどのような情報が必要とされているかなどを把握し、今後の市政広報活動を進めるうえでの参考とすることを目的として実施した。1971年度（昭和46年度）から概ね3年に1回実施しており、2020年度調査（今回調査）は16回目である。

■ 調査内容

（1）調査対象

令和2年9月1日現在の住民基本台帳に記載された15歳以上79歳以下の男女の中から、行政区分人口構成比を考慮して3,000人を抽出した。

（2）調査方法

郵送による調査

（3）調査期間

令和2年11月16日～12月9日

（4）調査の実施

調査・分析は、株式会社プラスアドに委託

■ 調査票の回収結果

調査対象者3,000人に発送し、1,469人から有効回答を得た。有効回答率は49.0%である。（前回調査：39.7%）

■ 報告書の概要

1 市政だよりについて（報告書 P3～P21）

(1) 認知状況

市政だよりの認知率は80.8%と高いが、2017年度調査より8.5ポイント低下している。

(2) 入手方法

「町内会などを通じて自宅に届く」が79.2%で最も高く、次いで「区役所・市民センターなどの公共施設」(2.8%)、「市のホームページで閲覧」(1.3%)、「コンビニエンスストア」(0.8%)、「スーパーマーケット（イオン、サンリブ等）」(0.7%)、「JR駅・モノレール駅」(0.3%)で、「入手していない」は10.1%となっている。

(3) 配布に関する希望

自宅に「届けてほしい」が78.0%、「届けなくてよい」が20.1%となっている。

(4) 閲読状況

市政だより（全体）	よく読んでいる+時々読んでいる	81.2%
特集	よく読んでいる+テーマによっては読んでいる	74.3%
情報ステーション	読んでいる	64.1%

(5) 発行回数

月2回の発行回数を どう思うか	今のままでよい	53.7%
	月1回で情報量を増やした方がよい	28.6%

(6) 市政だよりの紙面評価

紙面評価	読みやすい	52.1%	読みにくい	4.9%
理由	文字の大きさが適当	65.1%	文字が小さい	50.0%
	全体の構成が分かりやすい	55.3%	全体の構成が分かりにくい	44.8%
	カラー印刷で見やすい	52.2%	内容が面白くない	31.0%
	内容が面白い	32.8%	レイアウト等が工夫されていない	25.9%

(7) 内容の評価

特集記事	分かりやすい	49.7%	
	分かりにくい	2.2%	
	どちらとも言えない	42.6%	
情報ステーション	内 容	このままでよい	48.9%
		もっと詳しく	21.8%
	情報量	このままでよい	34.0%
		もっとたくさん	31.1%

(8) 市政だよりの形態に対するニーズ

インターネットで見る市政だよりがよい	11.4%
紙の印刷物として見る市政だよりがよい	53.7%
どちらも必要	28.7%

2 市政テレビ番組について（報告書 P22～P29）

(1) 認知状況

「知っている」の割合は 34.2%で、2017 年度調査より 13.8 ポイント低下している。

(2) 視聴状況（「知っている」人のうち）

番組名／放送局	経験視聴率 ※
「プライドK」／FBS	52.3%
「G I F T北九州」／テレQ	56.9%
「ニュース 55 北九州」／CATV	49.3%

※ 経験視聴率…「よく見ている」＋「時々見ている」＋「見たことがある」

(3) 番組別評価

番組名／放送局	役に立つ、楽しい	役に立たない、面白くない
「プライドK」／FBS	52.1%	3.4%
「G I F T北九州」／テレQ	59.8%	1.4%
「ニュース 55 北九州」／CATV	63.7%	3.6%

(4) 放送時間帯

市政テレビ番組を放送してほしい時間帯は、「平日の午後」(37.4%)が最も高く、その中で午後6時ごろの希望が多い。

3 市政ラジオ番組について(報告書 P30~P34)

(1) 認知状況

「知っている」の割合は8.5%で、2017年度調査より3.8ポイント低下している。

(2) 聴取状況(「知っている」人のうち)

経験聴取率(「よく聞いている」+「時々聞いている」+「聞いたことがある」)は67.2%となっている。

(3) 評価

「役に立つ」が51.2%、「役に立たない」が2.4%となっている。

(4) 放送時間帯

市政ラジオ番組を放送してほしい時間帯は、「平日の午後」(24.0%)が最も高く、その中で午後6時ごろの希望が多い。

(5) よく聞くラジオ局

よく聞くラジオ局は、「FM福岡」が29.8%で最も高く、次いで「KBC九州朝日」(23.2%)、「RKB毎日」(22.1%)、「CROSS FM」(21.0%)、「NHK 第一」(11.9%)となっている。

4 市ホームページについて(報告書 P35~P45)

(1) インターネットの利用状況

「利用している」が69.2%、「利用していない」が29.1%で、利用率は2017年度調査より12.4ポイント上昇している。

(2) 市のホームページの利用状況

「ほぼ毎日(週に5回以上)」が3.8%、「週に数回程度」が9.0%、「月に数回程度」が16.6%、「年に数回程度」が37.6%で、これらを合わせた利用率は67.0%となっている。

(3) インターネットの利用環境

「スマートフォン」が 74.6%で最も高く、次いで「パソコン」が 47.3%、「タブレット端末」が 10.1%、「携帯電話」が 2.6%となっている。

(4) 市のホームページでの市政情報入手状況

「区役所窓口における手続き」が 44.6%で最も高く、次いで「環境に関する情報」(43.9%)、「保健・福祉・医療の各生活情報」(43.3%)、「地震・台風等災害に関する情報」(34.9%)となっている。

(5) 市のホームページの評価

情報の鮮度	新しい	23.9%	古い	6.9%
ほしい情報	得ることができた	58.4%	得ることができなかった	4.8%
情報の探しやすさ	探しやすい	27.3%	探しにくい	31.0%
内容の分かりやすさ	分かりやすい	33.6%	分かりにくい	16.3%

(6) 北九州市動画チャンネルについて

「知っている」が 10.2%で、そのうち「利用したことがある」は 44.2%となっている。

(7) インターネットを利用した情報発信

活用を希望する媒体は、「ホームページ」が 51.9%で最も高く、次いで「SNS」(27.7%)、「動画共有サービス」(20.7%)となっている。

5 SNS（ツイッター、フェイスブックなど）について（報告書 P46～P55）

(1) 認知状況

「北九州市公式SNS」を「知っている」は 19.0%で、2017年度調査より 10.0ポイント上昇している。

(2) 利用状況（「知っている」人のうち）

「北九州市公式SNS」の利用率（「よく見て（活用して）いる」＋「時々見て（活用して）いる」＋「見た（活用した）ことがある」）は 63.2%となっている。

(3) 評価

「北九州市公式SNS」を利用した人の評価は、「役に立つ」が63.9%、「役に立たない」が5.7%となっている。

(4) LINEの認知状況

「北九州市公式LINE」を「知っている」は9.9%となっている。

(5) LINEの友だち登録状況（「知っている」人のうち）

「北九州市公式LINE」を友だち登録している割合は46.5%となっている。

(6) LINEの利用状況（「友だち登録している」人のうち）

「北九州市公式LINE」の利用率は、「時々見て（活用して）いる」が53.2%で最も高く、「見た（活用した）ことがない」と回答した人はいなかった。

(7) LINEの評価

「北九州市公式LINE」を利用した人の評価は、「役に立つ」が76.6%、「役に立たない」が2.1%となっている。

6 マスメディアを活用した北九州市のイメージアップについて（報告書 P56～P60）

(1) ロケが行なわれた映画・テレビ番組などの認知状況

「時々観る」が52.1%で最も高く、次いで「ほとんど観ない」が35.4%、「よく観る」が10.1%となっている。

(2) イメージアップ効果

イメージアップにつながったと「思う」は79.9%となっている。

(3) 映画・テレビ番組などの印象

「自分の街が出てうれしく思った」が69.5%と圧倒的に高くなっている。

(4) 本市のメディア露出について

「もっと頑張らなくて欲しい」が65.6%で最も高く、次いで「今の程度でよい」が23.7%、「特に必要ない」が2.7%となっている。

7 その他

(1) 媒体ごとの充実してほしい市政情報について

	市政だより	市政テレビ番組	市ホームページ
1位	健康（保健・医療）に関すること（61.5%）	健康（保健・医療）に関すること（46.5%）	健康（保健・医療）に関すること（49.5%）
2位	高齢社会(対策)・介護保険・予防に関すること（47.9%）	祭りやグルメなど市の魅力情報（45.9%）	各種手続きに関すること（49.1%）
3位	行事、催し物、講座などの案内（47.7%）	行事、催し物、講座などの案内（40.0%）	行事、催し物、講座などの案内（41.7%）

(2) 市政情報の入手媒体および提供を希望する媒体

	市政情報の入手媒体		市政情報の提供を希望する媒体	
1位	市政だより	63.4%	市政だより	61.8%
2位	テレビ・ラジオのニュース	32.0%	北九州市のホームページ	32.7%
3位	北九州市のホームページ	27.5%	テレビ・ラジオのニュース	32.3%
4位	回覧板	24.6%	新聞記事	20.8%
5位	新聞記事	22.8%	回覧板	20.1%
6位	口コミ	14.5%	SNS	18.6%
7位	ポスター・パンフレット	13.7%	ポスター・パンフレット	15.5%
8位	新聞広告	8.8%	市政テレビ・ラジオ番組	14.4%
9位	市政テレビ・ラジオ番組		新聞広告	11.1%
10位	携帯電話	8.6%	携帯電話	10.1%

(3) 障害者への市政情報の提供

「市政テレビ番組の手話通訳、字幕放送対応」の認知率が17.4%と最も高く、次いで「点字版市政だより」（10.1%）、「テキスト版市政だより」（3.5%）となっている。